

公益社団法人 全国柔道整復学校協会

厚生労働大臣指定

令和7年度柔道整復師専科教員認定講習会実施要領

1. 目的 柔道整復師専科教員認定講習会（以下「講習会」という。）は、柔道整復師学校養成施設指定規則（昭和47年文部・厚生省令第2号）第2条第6号及び別表第2の規定に基づき厚生労働大臣の指定を得て実施するものである。

2. 主催者 公益社団法人 全国柔道整復学校協会
〒105-0013 東京都港区浜松町1-6-2 丸神ビル1階
TEL：(03) 5405-1690 FAX：(03) 5405-3790

3. 会場

【東京会場／主幹校】 学校法人滋慶学園 東京メディカル・スポーツ専門学校
〒134-0088 東京都江戸川区西葛西3-1-16
TEL：(03) 5605-2930

(協力校) 学校法人常陽学園 東京医療福祉専門学校
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-11-11
TEL：(03) 3551-5751

(協力校) 学校法人呉竹学園 東京呉竹医療専門学校
〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町16-12
TEL：(03) 3341-4043

【大阪会場／主幹校】 学校法人明治東洋医学院 明治東洋医学院専門学校
〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町7-53
TEL：(06) 6381-3811

(協力校) 学校法人関西医療学園 関西医療学園専門学校
〒558-0011 大阪府大阪市住吉区苅田6-18-13
TEL：(06) 6699-2222

(協力校) 学校法人森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校
〒537-0022 大阪府大阪市東成区中本4-1-8
TEL：(06) 6976-6889

* 会場は受講試験実施要項の案内図を参照

4. 【東京会場】 開催期間

令和7年6月7日（土曜日）から令和7年10月18日（土曜日）までの期間内で、下記に定める時間とする。

6月7日（土曜日） 14時00分～ 20時00分（予定）

土曜日 13時30分～ 20時00分

日曜日・祝祭日 9時30分～ 16時40分

| 開催月 | 回数 | 土曜日 | 日曜日 | 祝日 |
|-----|------|---------------------------|-----|------------|
| 6月 | 8回 | ※ ¹ 7日（開講式） | 8日 | |
| | | 14日 | 15日 | |
| | | 21日 | 22日 | |
| | | 28日 | 29日 | |
| 7月 | 9回 | 5日 | 6日 | |
| | | 12日 | 13日 | |
| | | 19日 | 20日 | 21日（祝・月曜日） |
| | | 26日 | 27日 | |
| 8月 | 7回 | 2日 | 3日 | |
| | | 9日 | | |
| | | 23日 | 24日 | |
| | | 30日 | 31日 | |
| 9月 | 5回 | 6日 | 7日 | |
| | | 13日 | 14日 | 15日（祝・月曜日） |
| 10月 | 2～3回 | ※ ² 4日（修了試験） | | |
| | | ※ ³ 11日（追・再試験） | | |
| | | ※ ⁴ 18日（開講式） | | |

※¹ 6月7日の土曜日は14時から20時までの予定となります。

※² 10月4日の修了試験は10時からの予定となります。

※³ 10月11日の追・再試験は受験者のみ10時からの予定となります。

※⁴ 10月18日の土曜日は15時からとなります。

【東京会場】 担当科目及び講師等一覧

| 担当科目 | 講師氏名 | 講師の所属先 | 職名 |
|----------------------|--------|--|------------|
| 教育原理 | 稲川 郁子 | 日本体育大学 | 准教授 |
| 教育心理 | 奈良 雅之 | 目白大学大学院心理学研究科 | 教授 |
| 教育方法 ①② | 岡本 高宏 | つるかめクリニック | 医師 |
| 教育方法 ③④ | 岡本 美和子 | 日本体育大学 児童スポーツ教育学部 | 教授・博士(看護学) |
| 教育方法 ⑤⑥ | 矢郷 哲志 | 東京科学大学大学院 保健衛生学研究科総合保健看護学専攻 小児家族発達看護学研究室 | 助教・博士(看護学) |
| 教育方法 ⑦⑧ | 岡光 基子 | 宇部フロンティア大学 | 教授 |
| 教育行政 | 関 芽 | 日本体育大学児童スポーツ教育学部 | 准教授 |
| 人体構造機能学 (解剖学①②③④) | 阿久津 裕彦 | 順天堂大学大学院 医学研究科 解剖学・生体構造科学講座 | 非常勤助教 |
| 人体構造機能学 (生理学①②③④) | 池本 英志 | 昭和大学 医学部生理学講座生体制御学部門 | 講師 |
| 人体構造機能学(運動学) | 前田 信吾 | | 歯科医師 |
| 衛生学・公衆衛生学 | 熊澤 真理子 | 東京メディカル・スポーツ専門学校 | 専任教員 |
| 柔道整復術の適応 | 樫山 政宏 | 横浜呉竹医療専門学校 | 医師 |
| 柔道整復師のための救急医学 | 中川路 桂 | 東京呉竹医療専門学校 | 医師 |
| 整形外科学 | 竹内 仁 | 帝京科学大学 | 講師 |
| リハビリテーション医学 | 増山 英理子 | 昭和大学 | 准教授 |
| 医事制度及び法規① | 谷口 和彦 | (公社) 全国柔道整復学校協会 | 会長 |
| 医事制度及び法規②③ | 伊藤 譲 | 日本体育大学 | 教授 |
| 医事制度及び法規④⑤ | 千葉 竜一 | 東京メディカル・スポーツ専門学校 | 講師 |
| 柔道の歴史、柔道と柔道整復師 | 中島 嘉和 | 東京メディカル・スポーツ専門学校 | 講師 |
| 柔道実技 | 中島 嘉和 | 東京メディカル・スポーツ専門学校 | 講師 |
| 安全講習(救急救命法を含む) | 早川 幸秀 | 東京呉竹医療専門学校 | 教員 |
| 柔道整復学 i | 米原 裕二 | 東京メディカル・スポーツ専門学校 | 専任教員 |
| 柔道整復学 ii ①② | 橘 和豊 | 東京医療福祉専門学校 | 専任教員 |
| 柔道整復学 ii ③④ | 片桐 陽 | 東京医療福祉専門学校 | 専任教員 |
| 柔道整復学 ii ⑤ | 坂口 雅明 | 東京医療福祉専門学校 | 専任教員 |
| 柔道整復学 iii | 深澤 晃盛 | 東京呉竹医療専門学校 | 講師 |

| 科目担当 | 講師氏名 | 講師の所属先 | 職名 |
|---------------|-------|------------------|------|
| 柔道整復学 iv | 深澤 晃盛 | 東京呉竹医療専門学校 | 講師 |
| 柔道整復学 v ①②③④ | 伊藤 譲 | 日本体育大学 | 教授 |
| 柔道整復学 vi ①② | 伊藤 浩二 | 東京医療福祉専門学校 | 専任教員 |
| 柔道整復術適応の臨床的判定 | 立木 北斗 | 東京呉竹医療専門学校 | 講師 |
| 医用画像の理解 | 川口 央修 | 呉竹学園 | 教員 |
| 臨床実習指導者制度の理解 | 瑞泉 誠 | 東京メディカル・スポーツ専門学校 | 講師 |
| 高齢者の外傷予防技術 | 立木 北斗 | 東京呉竹医療専門学校 | 講師 |
| 教育実習 | 小関 孝男 | 東京メディカル・スポーツ専門学校 | 専任教員 |

5. 【大阪会場】 開催期間

令和7年6月14日（土曜日）から令和7年10月25日（土曜日）までの期間内で、下記に定める時間とする。

6月14日（土曜日） 14時00分～ 20時00分

土曜日 13時30分～ 20時00分

日曜日・祝祭日 9時00分～ 16時10分

| 開催月 | 回数 | 土曜日 | 日曜日 | 祝日 |
|-----|-------|-------------------------|---------------------------|------------|
| 6月 | 6回 | ※ ¹ 14日（開講式） | 15日 | |
| | | 21日 | 22日 | |
| | | 28日 | 29日 | |
| 7月 | 9回 | 5日 | 6日 | |
| | | 12日 | 13日 | |
| | | 19日 | 20日 | 21日（祝・月曜日） |
| | | 26日 | 27日 | |
| 8月 | 8回 | 2日 | 3日 | |
| | | 9日 | 10日 | |
| | | 23日 | 24日 | |
| | | 30日 | 31日 | |
| 9月 | 6回 | 6日 | 7日 | |
| | | 13日 | 14日 | |
| | | 20日 | 21日 | |
| 10月 | 2回～3回 | | ※ ² 5日（修了試験） | |
| | | | ※ ³ 12日（追・再試験） | |
| | | ※ ⁴ 25日（閉講式） | | |

※¹ 6月14日の土曜日は14時から20時までとなります。

※² 10月5日の修了試験は14時からの予定となります。

※³ 10月12日の追・再試験は受験者のみ14時からの予定となります。

※⁴ 10月25日の土曜日は15時からの予定となります。

【大阪会場】 担当科目及び講師等一覧

| 担当科目 | 講師氏名 | 講師の所属先 | 職名 |
|----------------|-------|-----------------|------|
| 教育原理 | 石田 貴子 | 大阪成蹊大学 | 教授 |
| 教育心理 | 北口 勝也 | 武庫川女子大学 | 教授 |
| 教育方法 | 藤本 敦夫 | 大阪音楽大学 | 教授 |
| 教育行政 | 藤本 敦夫 | 大阪音楽大学 | 教授 |
| 人体構造機能学 | 渡邊 康晴 | 明治国際医療大学 | 准教授 |
| | 林 知也 | 明治国際医療大学 | 教授 |
| 衛生学・公衆衛生学 | 前川 佳敬 | 森ノ宮医療大学 | 教授 |
| 柔道整復術の適応 | 月山 国明 | 月山クリニック | 医師 |
| 柔道整復師のための救急医学 | 吉岡 敏治 | 森ノ宮医療大学 | 教授 |
| 整形外科学 | 月山 国明 | 月山クリニック | 医師 |
| リハビリテーション医学 | 鈴木 俊明 | 関西医療大学 | 教授 |
| 医事制度及び法規 | 谷口 和彦 | (公社) 全国柔道整復学校協会 | 会長 |
| | 廣岡 聡 | 関西医療学園専門学校 | 専科教員 |
| 柔道の歴史、柔道と柔道整復師 | 吉田 勲生 | 明治東洋医学院専門学校 | 専科教員 |
| 柔道実技 | 吉田 勲生 | 明治東洋医学院専門学校 | 専科教員 |
| 安全講習（救急救命法を含む） | 秋津 知宏 | 明治東洋医学院専門学校 | 専科教員 |
| 柔道整復学 i | 北野 吉廣 | 平成医療学園専門学校 | 専科教員 |
| 柔道整復学 ii | 藤原 清治 | 関西医療学園専門学校 | 専科教員 |
| 柔道整復学 iii | 岩重 尚人 | 森ノ宮医療学園専門学校 | 専科教員 |
| 柔道整復学 iv | 三澤 圭吾 | 明治東洋医学院専門学校 | 専科教員 |
| 柔道整復学 v | 神内 伸晃 | 明治東洋医学院専門学校 | 専科教員 |
| 柔道整復学 vi | 谷口 和彦 | (公社) 全国柔道整復学校協会 | 会長 |
| 柔道整復術適応の臨床的判定 | 馬場 裕介 | 森ノ宮医療学園専門学校 | 専科教員 |
| 医用画像の理解 | 竹本 晋史 | 平成医療学園専門学校 | 専科教員 |
| 臨床実習指導者制度の理解 | 葉山 直史 | 森ノ宮医療学園専門学校 | 専科教員 |
| 高齢者の外傷予防技術 | 鈴木 俊明 | 関西医療大学 | 教授 |
| 教育実習 | 北野 吉廣 | 平成医療学園専門学校 | 専科教員 |

6. 受講資格 柔道整復師専科教員認定講習会受講試験に合格した者

7. 定員 東京会場40名、大阪会場40名とする。

8. 受講料 200,000円

受講料の振込先

振込み依頼者名は、受講者の氏名とする。

受講料は合格通知を受け取ってから令和7年5月30日（金曜日）までに指定口座に振り込む。

【郵便振替口座】 口座番号 00180-6-779458
口座名称 公益社団法人 全国柔道整復学校協会
(手数料受講者負担)

9. 講習科目及び時間数

| 教職教育科目 | | 専門基礎科目 | | 専門科目 | |
|----------|----|----------------|----|----------------|----|
| 科目 | 時間 | 科目 | 時間 | 科目 | 時間 |
| 教育原理 | 20 | 人体の構造と機能 | | 柔道整復学 | |
| 教育心理 | 24 | 解剖学・運動学・生理学 | 18 | 柔道整復学 i | 6 |
| 教育方法 | 16 | 疾病と障害 | | 柔道整復学 ii | 10 |
| 教育行政 | 8 | 衛生学・公衆衛生学 | 8 | 柔道整復学 iii | 6 |
| | | 柔道整復術の適応 | 4 | 柔道整復学 iv | 8 |
| | | 柔道整復師のための救急医学 | 8 | 柔道整復学 v | 8 |
| | | 整形外科学 | 8 | 柔道整復学 vi | 4 |
| | | リハビリテーション医学 | 8 | 柔道整復学演習 | |
| | | | | 施術の適応 | 2 |
| | | 保険医療福祉と柔道整復の理念 | | 医用画像の理解 | 6 |
| | | 医事制度および法規 | 10 | 超音波実習 | 4 |
| | | ※ 柔道 | 4 | 臨床実習指導者制度の理解 | 16 |
| | | ※ 安全講習 | 6 | 高齢者と競技者の外傷予防技術 | 4 |
| | | | | 教育実習 | |
| | | | | ※ 教育実習 | 2 |
| | | | | ※ 模擬授業 | 8 |
| | | | | ※ 現場実習 | 2 |
| 小計 | 68 | 小計 | 74 | 小計 | 86 |
| 合計 228時間 | | | | | |

※ こちらの科目は、所定時間数を全て満たさなければ修了試験を受験できません。

10. 修了試験の受験要件

以下の2つの要件を満たした者が修了試験を受験できる。

- ・専門基礎科目の「柔道（安全講習を含む）」および専門科目の「教育実習（模擬授業・現場実習を含む）」については所定時間数を全て満たすこと。
- ・全科目を受講し、所定時間数の5分の4以上受講していること。

11. 講習会の修了認定等

前記の修了試験に合格した者には修了証書を授与する。

「受講対象 A」は前記の修了試験に合格することで修了証書を授与する。

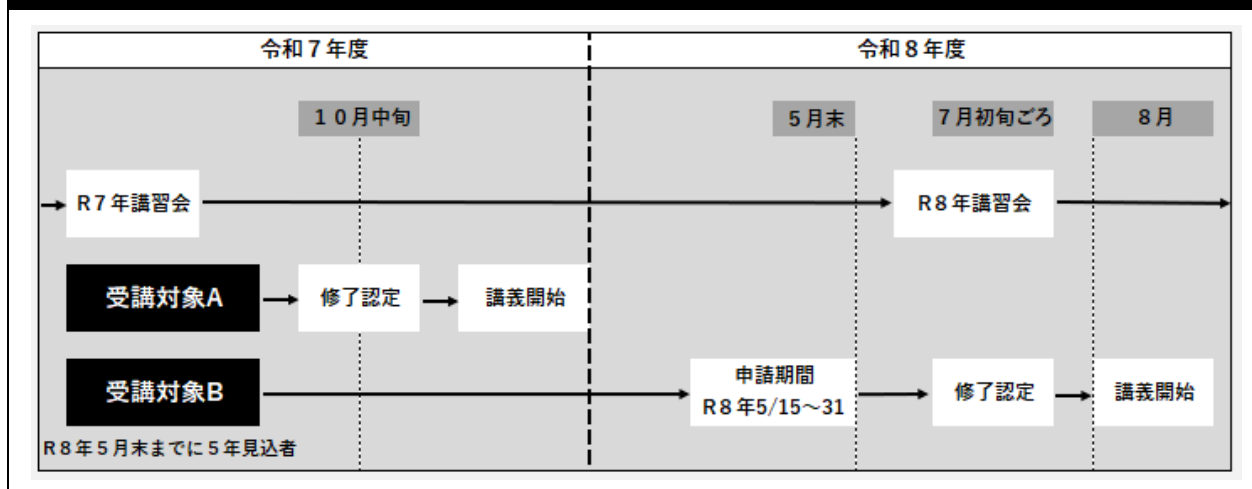
「受講対象 B」は前記の修了試験に合格し、所定の方法によって申請し修了認定された者に修了証書を授与する。

修了試験に不合格の者は、当該年度に限り再試験を受験できる。

受講対象について

| | |
|----------|---|
| 【受講対象 A】 | 受講年の5月末までに実務経験が5年以上 |
| 【受講対象 B】 | 実務経験4年以上5年未満 受講翌年の5末日までに実務経験5年以上の見込み |

受講対象別 修了認定と授業開始時期の目安



【修了認定後の授業担当可能時期について】

受講対象 A の方は、講習会を受講し修了試験に合格後、修了認定され、概ね令和7年11月から授業を担当できます。

受講対象 B の方は、講習会を受講し修了試験に合格後、5年以上の実務経験を満たす書類を添えて修了認定の申請手続きにより修了認定されれば授業を担当できます。

1 2. 「受講対象 B」の修了認定の申請期間と申請に必要な書類

申請期間：令和 8 年 5 月 1 5 日～3 1 日

修了認定の申請に必要な書類：

(様式 18-1) 専科教員認定講習会修了認定申請書 (受講対象 B 用)

(様式 18-2) 柔道整復師免許取得後 (登録日以降) 5 年以上の勤務内訳表

(様式 18-3) 実務従事証明 (提出用)

(様式 18-4) 実務従事証明書

※受講申し込み時に提出した実務従事証明書と重複する経歴も改めて提出してください。

※何らかの事情により令和 8 年 5 月 31 日までに 5 年の実務経験を満たさなかった場合は、令和 8 年 12 月 1 日から 12 月 15 日の期間に限り申請を受け付けます。詳細は個別に説明しますので必ず事務局に連絡をしてください。

1 3. 講習会に参加できない場合の受講料の返還

受講者が止むを得ない事情で講習会に参加できない場合、その事由を書面により受講開始日前日までに提出した者には受講料を返還する。